

令和7年度
学校評価報告書



綾瀬市立綾瀬中学校

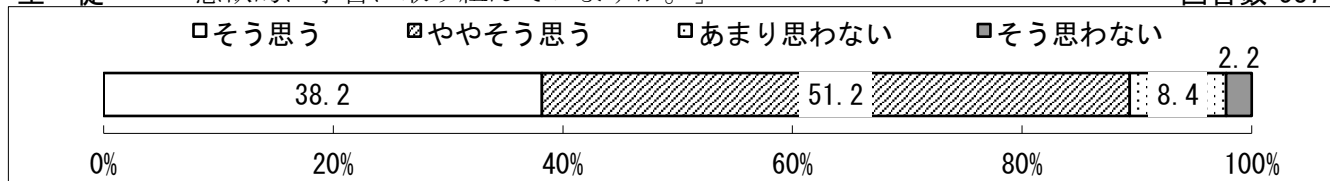
1. 学校は、「学びを生かす人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、学校教育目標である「学びを生かす人」を実現するために、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるような生徒の育成を目指します。そのために、全教職員で「生徒がoutputしたくなる5つの授業改革」をテーマに「本時の目標」の提示と「ふりかえり」の時間の確保等に努めています。

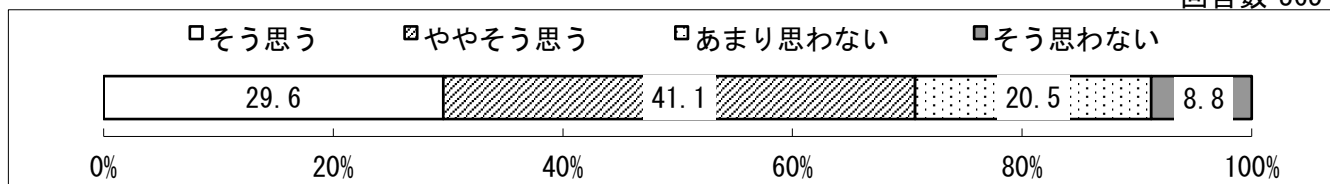
また、確かな学力の定着に向け、数学・英語で少人数授業を行うとともに、定期テストの前には放課後の学習会を開催し、個に応じた基礎基本の定着を図っています。

生徒 「意欲的に学習に取り組んでいますか。」 回答数 537



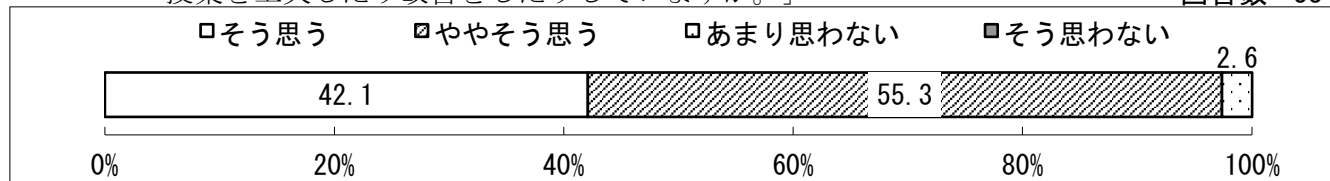
保護者 「お子さんは、学校の学習に意欲的に取り組んでいると思いますか。」

回答数 365



教職員 「あなたは、生徒が「主体的・対話的で深い学び」につながるよう授業を工夫したり改善をしたりしていますか。」

回答数 38



今後に向けて

生徒の約9割が肯定的な回答でした。これは昨年度と同等で高い水準を維持しています。また保護者も2ポイント向上し、7割を超えました。全教職員で同じ取組をした結果、生徒がどの授業に対してもルーティンとしてとらえることができたからだと考えます。

さらに、少人数授業や放課後の学習会の開設などで、一人ひとりの課題の克服にも力を入れてきた成果と考えられます。

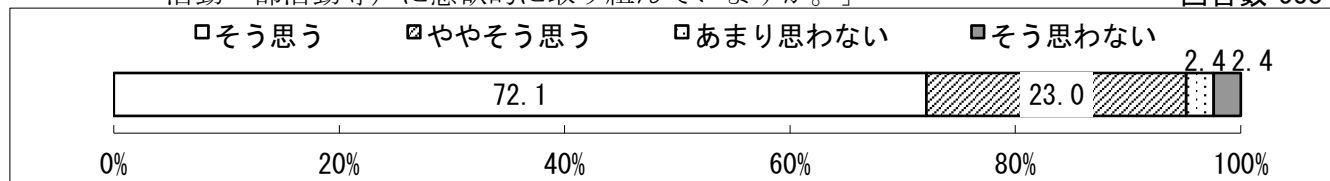
2. 生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。

学校の取組

本校では、合唱祭や体育祭などの学校行事において、多様な人と協力し、コミュニケーションを図る中で、人間関係を築く力や社会性を身につけることを目標に、各行事の企画運営をすすめています。また、部活動では、顧問や指導協力者の支援のもと、各部や一人ひとりの目標達成に向け、日々意欲的に活動しています。

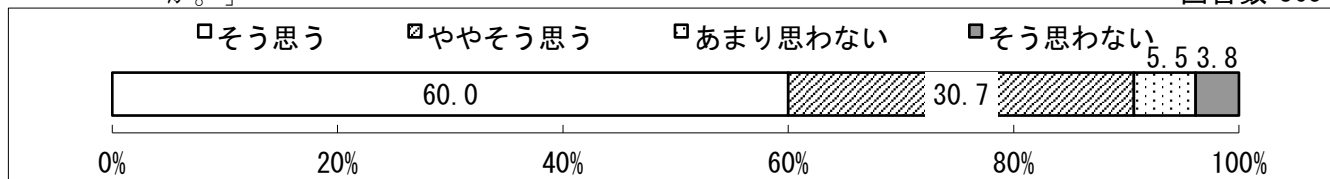
生徒 「教科以外の活動（体育祭・合唱祭・修学旅行等の学校行事・生徒会活動・部活動等）に意欲的に取り組んでいますか。」

回答数 538



保護者 「お子さんは、教科以外の活動（体育祭・合唱祭・修学旅行等の学校行事・生徒会活動・部活動等）に積極的に参加していると思いますか。」

回答数 365



今後に向けて

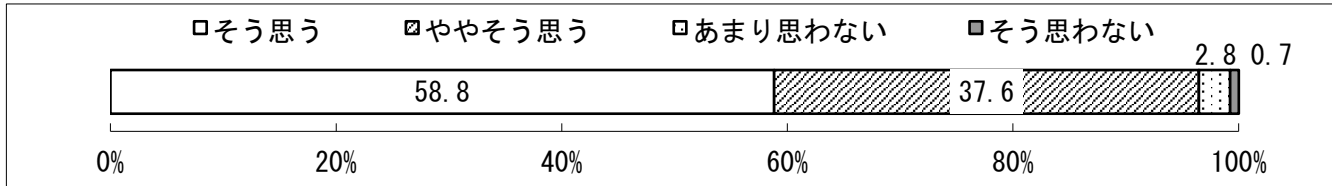
9割以上の生徒と保護者が肯定的な回答をしています。このことから学校行事や部活動に対して大変意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。学校行事では、全校や学年単位での活動を通じて、学校や学年の一員としての意識や一体感を深め、部活動では、共通の目標に向かって協力することで、連帯感を高められている成果と考えられます。保護者の方も学校行事や部活動に対してサポートくださり、学校の取組に対する協力と理解が深いと考えます。今後も、生徒が主体的に取り組むことができる行事の運営を目標としていき、心身の健全な発達を育てていきたいです。

3. 学校は、「共に生きる人」を育てる指導を積極的に行っている。

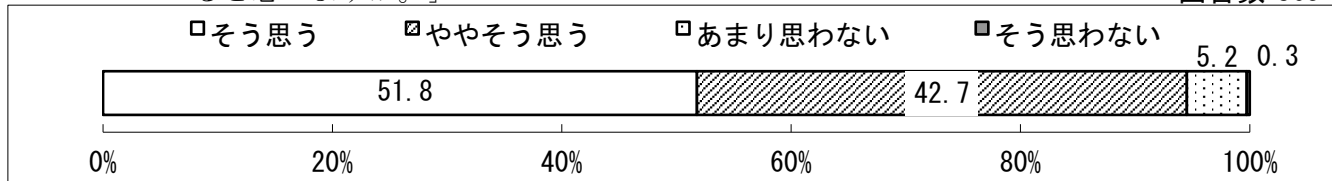
学校の取組

本校では、学級活動だけでなく、全学年が集まる専門委員会でもグループエンカウンターを行い、自己理解や他者理解を深める場としています。その経験を生かし、どのようにしたら自分の意見が相手に伝わるかなど、共に生きていくための知識を学ぶ機会を各教科や学校生活の中に取り入れています。また、今年度は全学年で道徳科の授業を学年間のローテーションで行いました。それぞれの教員が強みを生かすことで生徒に興味を持たせ、理解を深める努力をしています。さらに、学活の時間を活用し、体験学習や専門家による講演会を行い、人間的な成長を促す取り組みを行うことで、学校生活の充実を図っています。毎日10分間の朝読書でも、生徒自身の心の安定と成長を目指し、豊かな心を育む活動を推進しています。

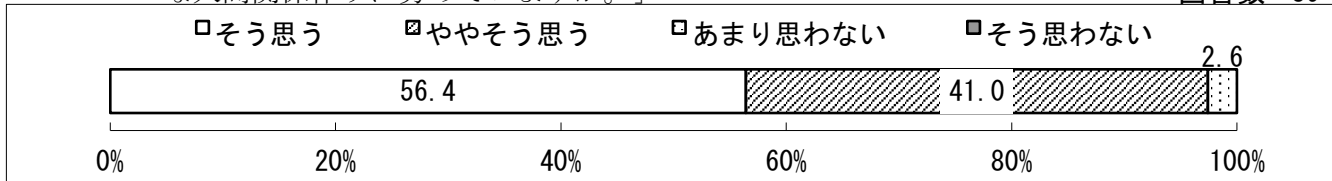
生徒 「周りの人に対して、思いやりの気持ちをもって接していますか。」 回答数 537



保護者 「おさんは、周りの人に対して、思いやりの気持ちをもって接していると思いますか。」 回答数 365



教職員 「あなたは、道徳科の授業や日頃の生徒支援等を通して、生徒の良好な人間関係作りに努めていますか。」 回答数 39



今後に向けて

9割以上の生徒が「思いやりの気持ちをもって接している」と回答しています。保護者も9割以上が「おさんが、思いやりの気持ちをもって接している」と回答しています。その割合が生徒・保護者とも学年が上がるごとに増加していることから、日々の学校教育が家庭や地域に支えられ浸透してきていると思われます。また本校生徒の素直で心やさしい気質は、保護者や地域の方々とのあたたかい人間関係にあると考えられます。

今後も教職員が生徒との良好な人間関係作りを意識し、道徳教育や読書活動、体験活動の推進に努めるとともに、保護者と教職員が生徒の健全育成に向けた活動を通して、心の育成を図っていきます。

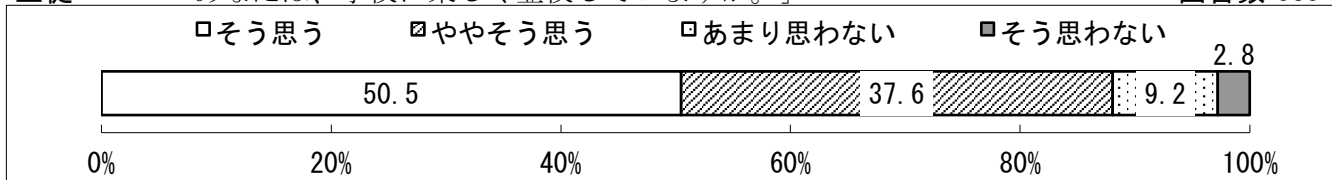
4. 生徒は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、毎月末のスクールアンケートや学期ごとの教育相談、日々の会話を通し、いじめの早期発見や再発防止に取り組むとともに、生徒の課題や悩みに早い段階で対応するよう努めています。

また、学級活動における意欲や満足が高まるためのソーシャルスキルの向上にも努めています。さらに、生徒の充実した学校生活の実現のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど心理の専門家とも連携し、心の安定や、生活の支援にも努めています。

生徒 「あなたは、学校に楽しく登校していますか。」 回答数 535



今後に向けて

約9割の生徒が「学校生活が楽しい」と回答しており、学校生活に多くの生徒が満足している様子がうかがえます。これは、授業や学級活動、学校行事、部活動、委員会活動など、生徒間の交流を深めながら、個々の生徒が活躍できる場があり、そこが正しく機能していることが、充実感や満足感につながっているためと思われます。また、居心地よく整理された学校図書館や教室、昼休みの体育館解放など、安心して休み時間を過ごせる場所があることも、楽しさにつながっていると思われます。併せて、教職員が生徒にとって安心・安全な学校を意識し、生徒一人ひとりのさまざまな課題に丁寧に対応した成果とも考えられます。

一方、学校生活(特に人間関係や学習面)に不安を抱え、あまり思わない、そう思わないと回答している生徒がいることにも留意し、丁寧に対応していく必要があります。

今後も、安心できる環境を心がけ、生徒が活躍できる場を工夫していくと共に、さまざまな活動に対する意欲や満足が高まるように支援・指導を行っていきます。また、ソーシャルスキルの向上を図り、生徒間の繋がりが深まるようはたらきかけていきます。

5. 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

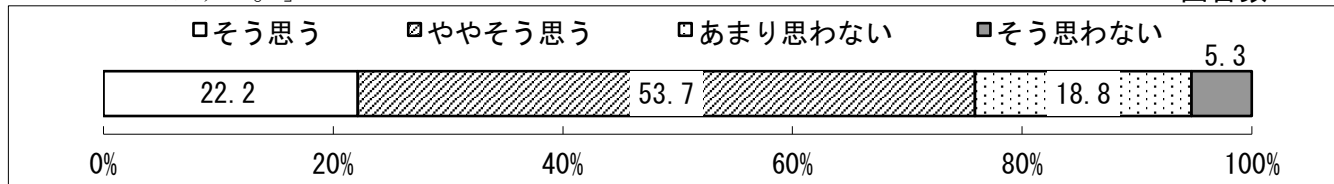
学校の取組

本校では、日頃から生徒との対話を大切にするとともに、毎月末のスクールアンケートの実施や学期ごとの教育相談を通して、生徒の声に耳を傾け、変化の兆しを見逃さないように努めています。

また、いじめ問題等検討委員会や校内支援委員会(いじめ防止検討委員会)を組織し、学校全体で情報を共有するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携して、いじめに対して迅速かつ適切な対応に努めています。

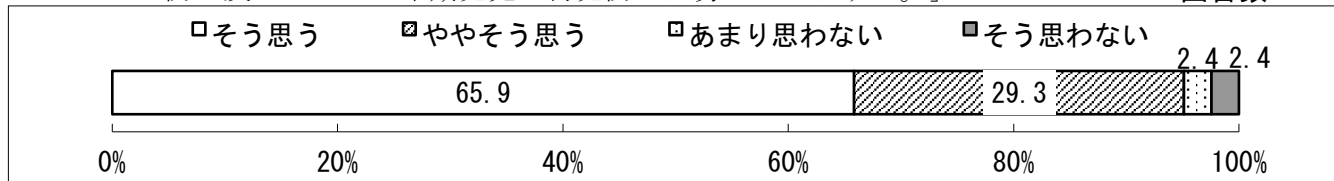
保護者 「学校は「綾瀬中学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止及びいじめの早期発見・再発防止のための取組を行っていると思いますか。」

回答数 361



教職員 「あなたは「綾瀬中学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止及びいじめの早期発見・再発防止に努めていますか。」

回答数 41



今後に向けて

いじめ対策について、昨年より約8ポイントの上昇が見られ、学校での取組が少しずつ保護者の方々に理解を広げているものの、依然として2割強の保護者は「あまり思わない」「思わない」という回答でした。これは、本校の教育活動に対し、保護者が不安に思っている場面があるという結果だと捉えています。これからも、保護者と丁寧に情報を共有し、何を不安に感じているのかを把握した上で、改めて全職員で「いじめゼロ」を目指し、いじめの早期発見・再発防止の取組を徹底していきます。

いじめ早期発見のための取組として、月末のスクールアンケートで生徒の状況を把握し、いじめがあった場合は速やかに聞き取りを行いチームで対応していきます。また、未然防止のための取組として、4月には情報モラルの授業を実施し、SNSが起因するいじめ等の未然防止にも力を入れます。部活動や学級活動では、生徒が話し合い「いじめ防止三カ条」を作成し、月末のスクールアンケートで振り返りを行います。道徳科では、生徒の心の教育に努め、一人ひとりの人権を大切にする学校・学級づくりを目指した指導に努めていきます。

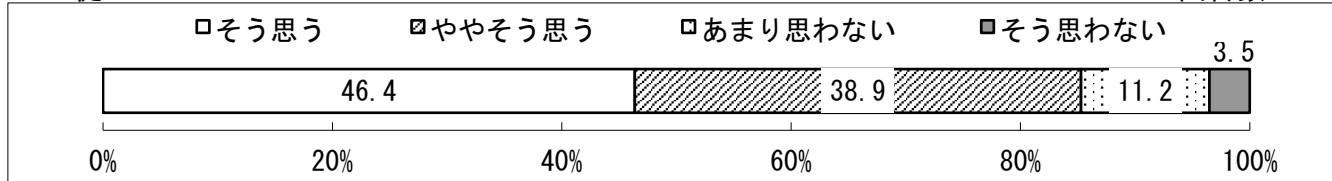
今後も、家庭と学校とで情報共有を行い、協力しながらより連携した対応ができるよう心掛けていきます。

6. 学校は、「健やかな人」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

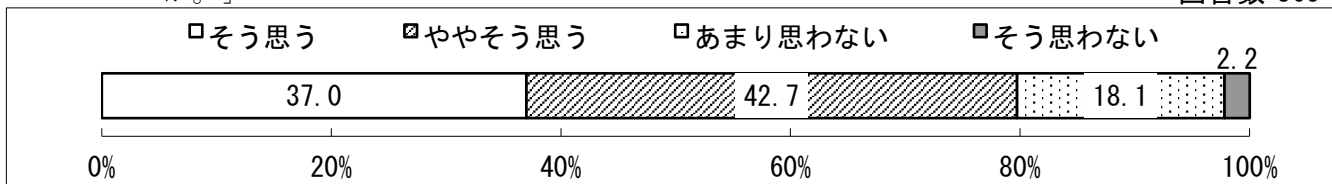
学校の取組

本校では、生徒一人ひとりの心と身体の健康に留意し、全職員で保護者との連携のもと、保健教育に取り組んでいます。また、生徒の「心と身体の健康」を育成するために、生徒に対して学級活動、道徳教育、保健指導、学校行事や部活動等を通してその充実を図っています。さらに朝会などでの校長や教職員の講話、保健室前の掲示物等を通して、その願いを伝えています。家庭へは、定期健康診断結果の連絡や、保健だより・学校だより等で健康に関するさまざまな情報を発信しています。

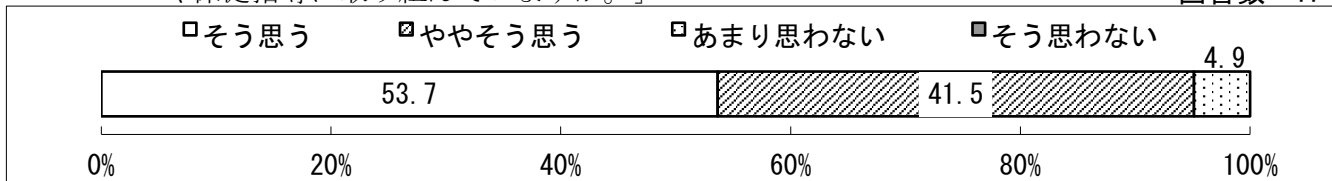
生徒 「自分の健康や体力に関心を持って生活していますか。」 回答数 537



保護者 「お子さんは、自分の健康や体力を意識して生活していると思いますか。」 回答数 365



教職員 「あなたは、生徒が自分の健康に留意して生活するように、健康観察や保健指導に取り組んでいますか。」 回答数 41



今後に向けて

8割半ばの生徒が、「健康や体力に関心を持って生活している」と肯定的な方向に回答しており、これは昨年度に比べ今年度は5ポイント上昇しています。学年別では2年生の割合が9割と一番多く、次に1年生、3年生と続いており、健康に対して意識して生活している結果が表れていると考えます。また、保護者においても昨年から6ポイント上昇しており、今年度の数値は過去3年間で一番多い割合でした。生徒、保護者共に、健康に対する意識が高まってきていると考えられます。

本校では「健やかな人」を育むために保健だよりの発行や保健室前の掲示を充実させ、健康について積極的にアプローチを行っております。さらに「綾瀬中学校ではスマートフォンの利用は夜9時まで」を合言葉にしており、今年度は、昨年度に比べ、生徒の利用時間が減っていることが、校内研究のアンケート結果からわかりました。生徒が健康や学習を意識して行動できている結果だと考えられます。今後も上記のような機会を通じ、自らが積極的に行動し、「健やかな人」を育む努力を積み重ねられるようにしていきたいと考えます。

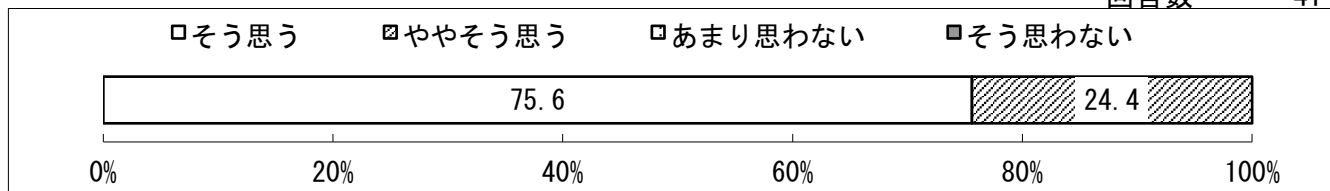
7. 学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、年間3回の避難訓練を通じて、防災教育と災害時における適切な行動を指導しています。また、学期ごとに全教職員で安全点検を行い、改善すべき箇所の確認を行っています。日常においても、「修繕依頼用紙」を活用して、危険箇所の修繕を速やかに行い、安全を図っています。

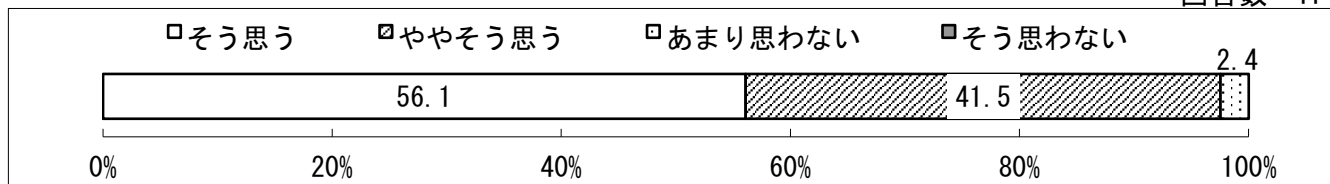
教職員 「あなたは、生徒の安全を意識して教育活動を行っていますか。」

回答数 41



教職員 「あなたは、生徒の安全を意識して学校設備の点検・整備に取り組んでいますか。」

回答数 41



今後に向けて

今年度は震度5弱以上の震災を想定し、新たな取組として引き渡し訓練を同じ学区である綾南小学校と合同で実施しました。生徒の防災への意識も少しずつ高まりつつあると感じています。しかし、自身の身を守るためのヘルメットや防災頭巾の持参率が呼びかけてはいるもののとても低いのが現状です。次年度に向け、新1年生には必ず持参するものとして整理し、防災に努めたいと考えます。今後も、地震・天候災害等を想定し、自ら考えて行動できる防災教育を計画的に実施し、生徒・教職員の災害時の対応に向けた意識をさらに高め、教育活動、施設の点検・整備を進めていきます。また、ここ数年実施している部活動代表生徒による救命処置の研修等も継続し、教職員だけでなく、生徒の安全に対する意識や技術の向上にも努めていきます。

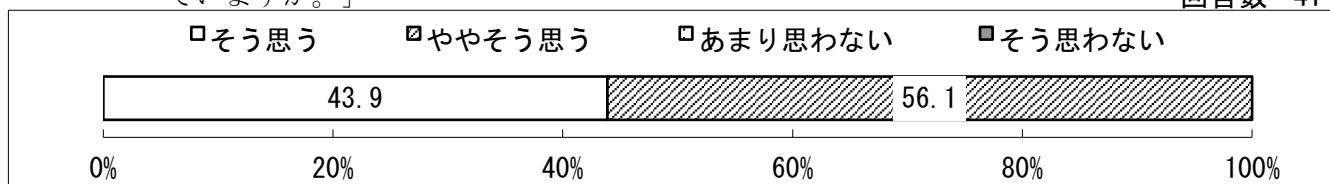
8. 学校は、生徒に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

本校では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うために、支援方針を明確にして、迅速に個別の対応ができるような支援体制を整えています。その際には、教育相談コーディネーターを中心に、必要に応じ専門機関とのケース会議を開いたり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携したりするなど、実効性のある支援に努めています。

教職員 「あなたは、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の工夫をしていますか。」

回答数 41



今後に向けて

すべての教職員が個に応じた支援の工夫をしていると回答しています。具体的な取組として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門職の活用や相談機関とも連携を図り、生徒支援を行うとともに、生徒のニーズがなくても、生徒アンケートの結果から相談の必要性があると思われる生徒を積極的にスクールカウンセラーにつなげるなど、スクリーニングによる支援も行っています。さらに、学習支援ルーム(通称:ルリエ)では、これまで主に集団生活に苦しさを感じている生徒の利用に加えて、学習面に不安を感じている生徒の学び直しの機会として、授業の取り出しという支援を行っております。今後も、教職員の共通理解のもと、生徒一人ひとりの課題や教育的ニーズに応じた支援が強化できるように、校内の支援体制の整備に努めていきたいと考えていますが、個々の生徒への対応が増え、ニーズに応じた支援が追い付かず難しさを感じている現状があります。

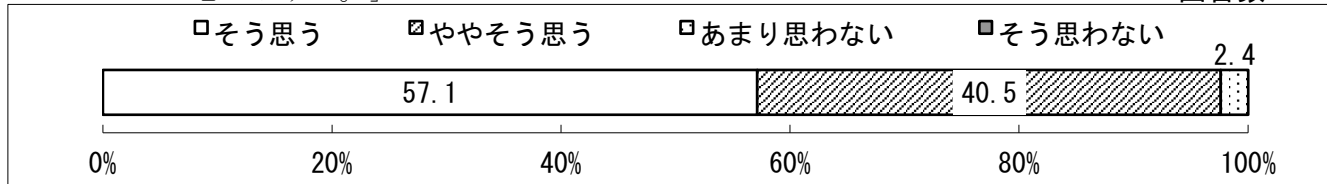
9. 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、年度当初に校長から示されたグランドデザインをもとに、学校教育目標達成のため、各グループが連携して教育活動に取り組んでいます。また、年末に学校運営に関するアンケートを実施し、全ての教職員からの意見をもとに、グループ業務の反省と評価・見直しを行っています。学校評価をもとに教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善を図っています。

教職員 「本校では、各グループの連携が円滑に行われ、有効に機能していると思いますか。」

回答数 42



今後に向けて

学校教育目標及びグランドデザインのもと、今年度のスローガン「誰かの答えじゃない。自分の答えを出せ！～笑顔と対話を大切に～」を目指し、総括教諭がグループメンバーの意見を吸い上げ、昨年度の反省や意見を反映しながら、新しい試みに果敢に挑戦し、各グループが連携・協働して所掌事項を遂行してきた結果と考えられます。

今後も、学校運営組織がより機能するように、建設的に評価・見直しを行い、連携・協働して業務が遂行できるように意識の向上を図っていきます。経験の浅い教職員の育成も校内で図り、学校運営を強化していきます。

10. 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

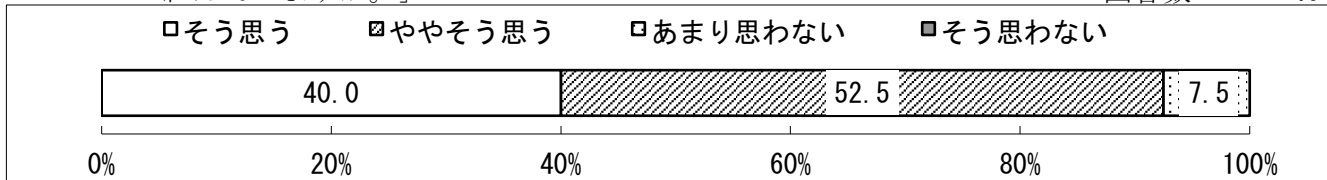
学校の取組

本校では、令和6・7年度綾瀬市教育委員会研究推進校として研究を進めてきました。より一層の教員一人ひとりの教科指導力の向上を図るため、校内研究を通して講師による指導のもと、全教員による研究会を行い、指導力向上・授業改善に努めています。また、期間を設けて、全教員による公開授業を行い、参観した教員は自らの参考とするとともに、意見や感想を伝えることによって、相互に授業力向上を図りました。

さらに、教科指導だけでなく、道徳教育、支援教育、生徒指導等の教員としての力量向上のために校内研修を企画し、校外研修への参加も推進しています。

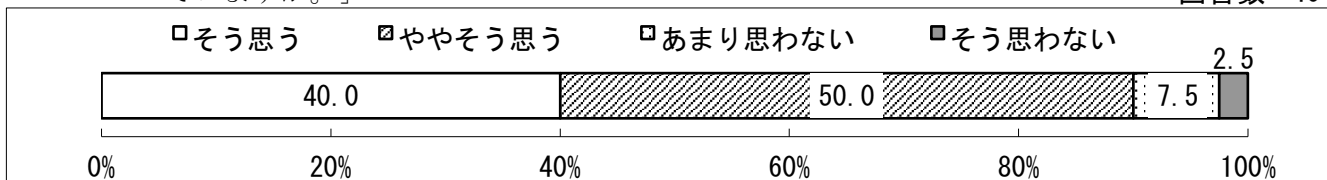
教職員 「あなたは、指導力向上・授業改善にむけた校内研究に積極的に取り組んでいますか。」

回答数 40



教職員 「あなたは、教師の力量を高めるための研究研修に積極的に取り組んでいますか。」

回答数 40



今後に向けて

今年度は、「指導力向上・授業改善にむけた校内研究」、「教師の力量を高めるための研究研修」いずれの取組に対しても、肯定的な回答が9割強となっています。また、校外やWebで行われる研修に積極的に参加している教員も多くいました。さらに、研修で学んだ内容について復命するだけでなく、職員会議等の時間に、他の教職員に向けて発信する取組も行われ、効果をあげました。

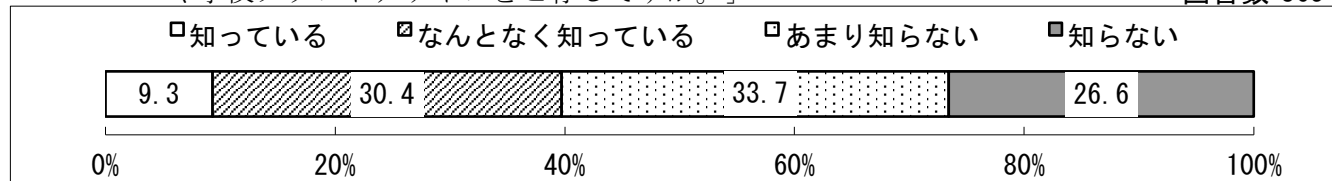
今後も、校内研究を通して指導力向上・授業改善に向けた取組を活性化していくとともに、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができる生徒を育成するために、自らも力量の向上を目指し、積極的に研修等への参加を推進していきます。

1 1. 学校は、生徒の実態を把握し、よりよい生徒の成長のための工夫をしている。

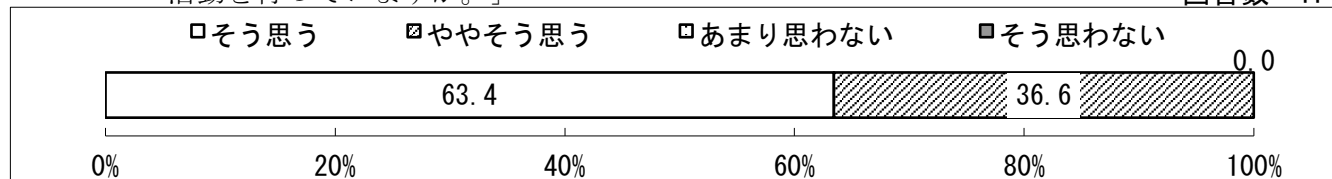
学校の取組

本校では、「学びを生かす人」「共に生きる人」「健やかな人」を学校教育目標に設定し、また、学校グランドデザインを様々な場所に掲示し、必要な資質をそなえ、豊かな個性と高い理想をもった生徒の育成を目指しています。

保護者 「本校の学校教育目標(学びを生かす人・共に生きる人・健やかな人)や学校グランドデザインをご存じですか。」 回答数 365



教職員 「あなたは、学校教育目標及び学校グランドデザインを意識した教育活動を行っていますか。」 回答数 41



今後に向けて

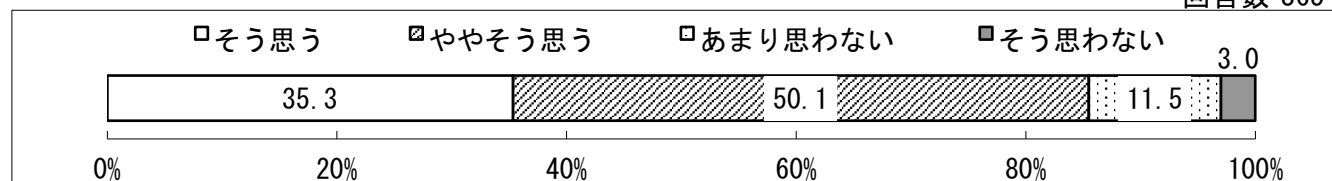
これまで教職員が、学校教育目標や学校グランドデザインで示された生徒像を目指して、教育活動を行ってきました。ここにはありませんが、生徒もグランドデザインを意識した活動が増え、9割の生徒がグランドデザインを知って活動しています。一方で保護者のグランドデザインの認知が今一つなので、より広めていける方法を探り、教職員、生徒、保護者と協力して学校教育目標を達成していきます。

1 2. 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

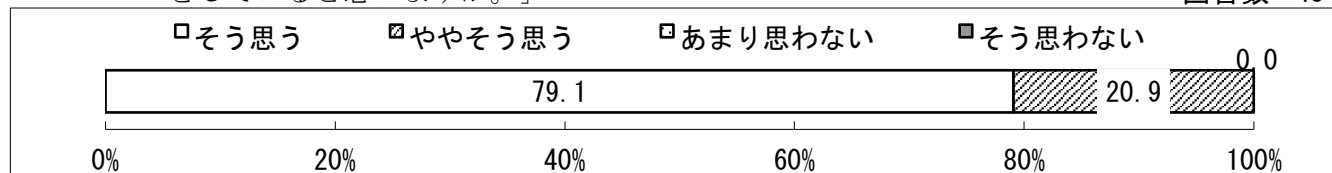
学校の取組

本校では、学校だより・学年だより・授業参観・懇談会等により、教育方針や教育活動について分かりやすく保護者に伝えるよう努めています。また、地域と学校をつなぐ取組として、地域の方に職業講話をしていただいたり、地域の小学生に部活動体験をしてもらうなどの活動を行っています。昨年度からは青少年健全育成会にご協力いただき、通学路の安全点検を教員と行っています。保護者や地域の理解や協力のもと、学校との信頼関係を深めています。

保護者 「学校の情報はわかりやすく伝えられていますか。」 回答数 365



教職員 「本校では、学校の情報を保護者などに伝え、理解や協力を得る工夫をしていると思いますか。」 回答数 43



今後に向けて

肯定的回答が8割を超えています。学校情報配信システムは欠席連絡の用途もあるため、多くの保護者がスマートフォン等にインストールしていますので、保護者に学校の様子がより伝わることになっています。引き続き学校だより・学年だより・保健だより等では授業の取組の様子や行事の振り返り、レクリエーションの写真など学校での生徒の様子が保護者に伝わるよう工夫をしていきます。また、懇談会や保護者全体会等では生徒の様子や課題、進路に関わる情報を保護者に届けていきます。地域に対しては学校ホームページを通じて学校の情報をお知らせし、地域の方々の協力を得ながら学校運営をしていけるよう努めていきます。